



浜田ダム再開発工事

平成29年8月1日発行

再開発だより

第14号

■JVあいさつ（工事現況）

平素より地域の皆様には大変お世話になっております。
今年の梅雨は、皆様ご存じのとおり、山陰地方、そして九州北部地方を中心に梅雨前線が停滞し、大雨のシーズンとなりました。

ここ浜田市でも、7月5日の明け方に大雨による特別警報が発令され、浜田・三隅道路の全面通行止めや、一部地域で避難指示が出されるなど、各地で被害をもたらしました。

浜田ダムでは、大雨でダム湖の水位が上がり続け、4年前の豪雨の時に匹敵する量の放流をしましたが、昨年完成した第二浜田ダムに貯水、調節され、浜田川が氾濫することはありませんでした。

この、第二浜田ダムと一体となって浜田市街地の洪水調節機能を担う浜田ダム。リニューアルを無事完成させ、さらに皆様の生活の安全に貢献できるよう、日々工事を進めて参りたいと思います。

また、梅雨が明け夏本番となりました。最高気温が35度近く、夜も熱帯夜が続いています。皆様におかれましては、熱中症にかかりませぬようお祈り申し上げます。

ダム天端では引き続き100tクレーンが作業していますが、通行車両の安全を最優先に作業を行って参りますので、引き続き、地域の皆様のご理解をいただきますよう、よろしくお願い致します。

■浜田ダム再開発工事現況

① 堤体上流側 平成29年6月



平成29年8月



右岸側の古くなった堤体コンクリートを取り壊しています。

② 堤体下流側 平成29年6月



平成29年8月



右岸側の水叩きが完成し、護岸部の掘削に着手しました。

『線状降水帯』～高気圧が悪さをすることも？～

今回の大雨の原因として、皆さん「線状降水帯」という言葉をよく耳にされたのではないのでしょうか。

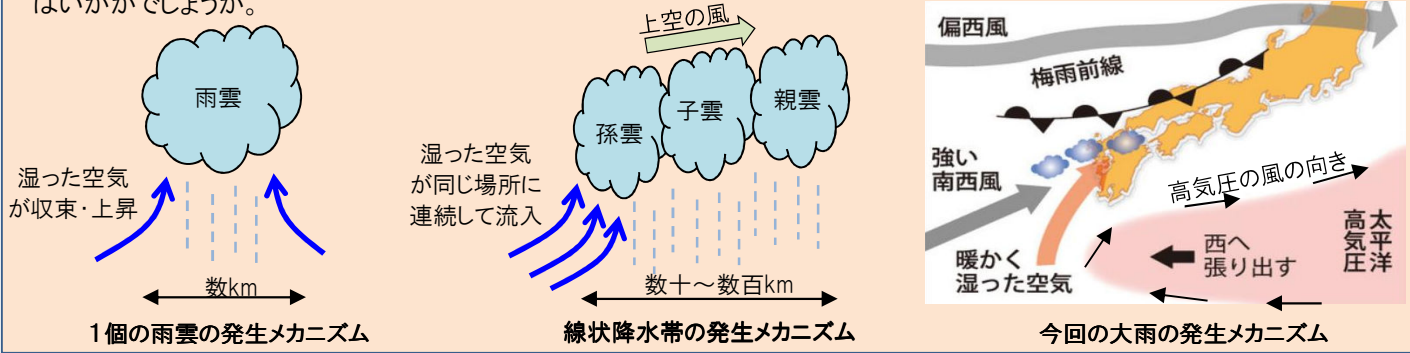
通常、雨雲は、地上付近の湿った空気が収束し、行き場を失って上昇することで形成され、雨は30分～1時間程度で止みます(左下の図)。しかし、この湿った空気が同じところに流入し続けると、同じ場所に次々と雨雲が発生します。先に発生した雲は上空の風に流されて移動するので、この風に沿って雨雲の列ができ、降水帯が形成されます。これを「線状降水帯」と呼び、その長さは数百kmになることもあります(下の中央の図)。

この「線状降水帯」による大雨ですが、決して珍しい現象ではなく、過去には関東地方の鬼怒川の堤防が決壊した平成27年9月の大雨、そして平成26年8月の広島県内に大規模な土砂災害をもたらした大雨の原因がこれによります。

線状降水帯の形成には、梅雨前線や秋雨前線などの「停滞前線」に、湿った空気が同じ場所に流入し続ける必要があります。その供給源は台風(熱帯低気圧)であることがほとんどですが、今回、山陰地方と九州北部を襲った大雨では、日本から遠く離れたところにあり、降水帯の形成に至る可能性は通常ならば低かったと考えられます。

しかし今回は、日本の南東側にある太平洋高気圧が西へ大きく張り出し、その湿った空気の流入先が山陰地方、九州北部地方に制限されたことで大雨に至りました(右下の図)。

高気圧があると、皆さんなんとなく「天気が良い」というイメージを持たれるかと思いますが、その配置によっては、日本へ湿った空気をもたらす、雨を降らすこともあります。梅雨の時期には、こうした日本列島周辺の気圧配置にも着目されてはいかがでしょうか。



『これから夏本番！現場での熱中症対策』

地域の皆様におかれましては、毎年この暑い夏を乗り切ろうと様々な対策をされているのではないのでしょうか。当現場でも、この酷暑の中で日々作業が進められますので、少しでも暑さを和らげ、熱中症にならないよう様々な対策を実施しています！そこで、現場で行っている対策をいくつかご紹介したいと思います。



①休憩所の常時冷房運転

各休憩所では冷房を常時をつけており、休憩時間、食事の時に身体を冷ますことができるように配慮しています。



②ミストファンの設置

水蒸気を送り、その気化熱で気温を下げる扇風機です。交通誘導員さんなど、1日同じ場所で立ち仕事される方に利用してもらっています。



③空調服と日よけの使用

ファンで作業服の中に風を送ることができる空調服と、ヘルメットの日よけです。作業中の体温の上昇を緩和します。



④温湿度計の設置と行動指標

温度と湿度を計測し、熱中症になる危険度(暑さ指数: WBGT値)を測っています。この危険度に応じて、「こまめに休憩をとる」などの行動指標を定めて掲示しています。

⑤その他

- ・休憩所の冷蔵庫に氷、経口補水液などを常備
- ・梅干しや塩飴などの塩分補給用の食べ物を配給
- ・各作業場ごとに送風機を完備
- ・朝礼前に全作業員の体調をチェック(朝ごはんを食べたかなど、細かくチェックします)などなど、様々な対策を実施し、熱中症防止に努めています！

発行・お問い合わせ先

鹿島・フタ・洋行特別共同企業体 浜田ダム再開発工事事務所 HPアドレス <http://renew-hamadadam.jp/>

〒697-0011 浜田市後野町2246-31

TEL.0855-25-5356 FAX.0855-25-0077